

徹底したテグス張りでアユを守る！

2022. 4. 24 栃木県水産試験場

黒川漁協では、約 17km のアユ放流エリアに延べ 30km にも及ぶテグスを設置して、カワウやサギの飛来を防いでいます。リール竿を使って効率的に作業することで、延べ 26 人日（実働 4 日）で設置することができるそうです。

大河川では難しいかもしれませんが、カワウやサギの飛来に困っている中小河川では、ぜひ参考にしてみてください。

【2022 年の黒川漁協のテグス張りの概要】

設置時期 : アユ放流の 1 週間前からアユ解禁前日まで

設置した流程 : 約 17km

テグスの種類と長さ : 黄色の防鳥糸（500m で 300 円ほど）を 30km

設置に掛かった人出 : 延べ 26 人日（実働 4 日）

リール竿でおもりを投げる係 1 人、反対岸でおもりを受け取る係 2 人の 3 人 1 組体制が基本

テグス張りの手順 : ①川の流に垂直な横糸 371 本を張る（風でゆれる程度のテンション）

②川の流に平行な縦糸 2 本を張って、横糸をつなぐ

③カワウ、サギが止まりそうな石の真上にテグスの位置を調整

④岸よりのテグスに目印を設置



図 1 縦糸と横糸のようす

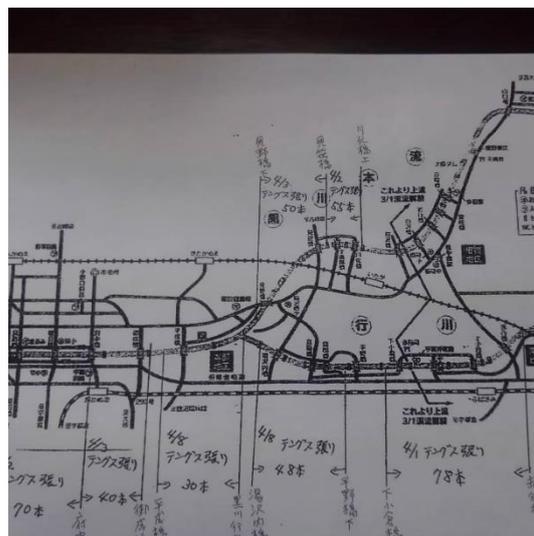


図 2 どこにどれだけ設置したかすべて記録されています